

細野の秋がをれ

（尾花沢市細野集落）



新そば・秋の味覚まつり

尾花沢市中心部から南東に約10
 〇、78世帯273人が暮らす細野集
 落。

少子高齢化が進んでいたここ細野
 集落では2009年から地域づくり
 への話し合いを始め、2010年には、
 集落全戸、住民全員参加の地域おこし
 グループ「清流と山菜の里ほその村」
 を設立した。その「清流と山菜の里ほ
 その村」が主催する秋のイベントの1
 つが「新そば・秋の味覚まつり」だ。

このイベントは交流人口を増やす
 ために始めたもので、今年で6回目。
 石臼挽きした細野産のそばを、住民自
 らが手打ちした蕎麦が味わえる。

先に申込んでおけば、新そばの他
 に、きのこやイワナ、秋野菜など、細
 野の自然が育んだ食材を使った料理
 も味わえる。どの料理も集落のお母さ
 ん達が手間暇かけて作ったものばか
 りだ。

当日は、野菜・加工品などの直売も
 行われる。細野の豊かな自然のなかで
 育まれた秋の味覚を楽しみに、是非、
 一度訪れてみてはいかがだろうか。

新そば・秋の味覚まつり 2015

日時：11月8日（日）11時～14時

場所：細野地内特設会場

参加費：2500円（新そば、きのこ・イワナ料理等付）

数に限りがあり、予約なしで新そばのみの提供あり

申込先：尾花沢市常盤地区公民館

0237 28 2122



こじで生きる、楽しむ

「清流と山菜の里ほその村」では、遊休農地でのそば栽培、季節ごとの体験イベント、伝統行事「虫おくり」の復活など、様々な活動を行っている。

今年7月には、農家レストラン「蔵」もオープンした。

「ここで生きるなら、10年後20年後のためにみんなで知恵を出し合い、工夫して活動していくことが大切」と話す五十嵐会長。10年後20年後の細野集落が輝き続けるための取組みは始まったばかりだ。



(左)「清流と山菜の里ほその村」 五十嵐幸一会長
(右) お父さんグループ「楽成会」で看板設置

農家レストラン「蔵」

営業日：毎週土・日

営業時間：11：30～14：00

メニュー：季節の田舎膳（1500円）

山菜料理、手打ちそば等付き

問合せ先：080-2808-6660（友輪会）

※完全予約制



お母さんグループ「友輪会」がレストランと加工品担当



田舎膳一例（手打ち蕎麦とメープルシロップゼリー付）

年間イベント情報

3月 メイプルサップの採取体験

5月 高い山運開き・山菜まつり

7月～ そばオーナー制（年3回の交流イベント）

11月 新そば・秋の味覚まつり

【通年】

ほその村ふるさと定期便（年4回季節の味を発送）

【問合せ先】

尾花沢市常盤地区公民館 TEL0237-28-2122

【そばの国内消費状況】

国内自給率は約 30%

国内の作付面積・生産量第1位は北海道

山形県は・・・作付面積 全国第2位

生産量 全国第4位



資料：農林水産省「作物統計」等